



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 東京テアトル株式会社
コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,464	8.6	115	27.6	173	65.1	233	50.6
2023年3月期第3四半期	11,481	24.3	160		496	43.3	473	55.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 592百万円 (6.7%) 2023年3月期第3四半期 555百万円 (48.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	32.47	
2023年3月期第3四半期	64.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	24,960	12,475	49.8	1,728.81
2023年3月期	23,582	11,986	50.7	1,654.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,432百万円 2023年3月期 11,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	4.2	150	128.2	200	47.6	150	20.2	20.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	8,013,000 株	2023年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	821,375 株	2023年3月期	793,354 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	7,194,442 株	2023年3月期3Q	7,385,709 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年3月期第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日、以下「当四半期（累計）」といいます。）におけるわが国の経済は、経済社会活動の正常化に伴い、景気は緩やかに回復しつつあります。その一方、長期化するウクライナ情勢による資源・資材価格の高騰や、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れリスクに、円安進行による物価の上昇や中東情勢の緊張が加わり、先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当四半期（累計）の連結業績は、コロナ禍から飲食事業や映画興行事業が回復してきたことや、中古マンション再生販売事業の営業活動エリア拡大により売上高は12,464百万円（前年同期比8.6%増）となりましたが、中古マンション再生販売事業の利益率が低下したことから営業利益は115百万円（前年同期比27.6%減）となり、また新型コロナウイルス感染症に伴う助成金収入が減少したこと等から経常利益は173百万円（前年同期比65.1%減）、飲食店2店舗の立退きに伴う受取補償金134百万円を特別利益に計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円（前年同期比50.6%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	11,481	12,464	+982
営業利益	160	115	△44
経常利益	496	173	△322
親会社株主に帰属する四半期純利益	473	233	△239

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	2,554	2,614	+60
飲食関連事業	3,658	4,049	+391
不動産関連事業	5,269	5,800	+531
計	11,481	12,464	+982

■セグメント別営業利益（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	△102	△127	△24
飲食関連事業	△59	135	+194
不動産関連事業	851	690	△161
調整額	△529	△582	△52
計	160	115	△44

<映像関連事業>

(映画興行事業)

『福田村事件』『RRR』『君たちはどう生きるか』が高稼働するなど好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末と同じ8館21スクリーンです。なお2024年2月29日に「新所沢レッツシネパーク」が閉館する予定です。

(映画制作配給事業)

当四半期（累計）は『それいけ！アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント』『愛にイナズマ』『せかいのおきく』など10作品を配給いたしました。当四半期（累計）は前記『それいけ！アンパンマン』等が高稼働いたしましたが、全体的にヒット作に恵まれず、前年同期比で減収となりました。

（ソリューション事業）

既存クライアントの広告宣伝費予算が縮小されたことに伴い、前年同期比で減収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は2,614百万円（前年同期比2.4%増）となりましたが、映画制作配給事業の減益から営業損失は127百万円（前年同期は営業損失102百万円）となりました。

<飲食関連事業>**（飲食事業）**

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、客足が本格的に回復してきたことに加えて、インバウンド需要の増加や宴会需要が徐々に戻り、前年同期比で増収となりました。

■飲食店・販売店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	37	37	0
都内ダイニングバー	4	4	0
その他	4	4	0
飲食店 合計	45	45	0
販売店 合計	4	4	0

- ・2023年9月13日に「レストラン西洋銀座」が開店いたしました。
- ・2023年12月29日に「シュリンプリーム」が閉店いたしました。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は4,049百万円（前年同期比10.7%増）となり、営業利益は135百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

<不動産関連事業>**（不動産賃貸事業）**

都内の賃貸オフィス市場の厳しさが増す中で、きめ細かいリーシング活動により賃貸物件が100%近い稼働率を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

（中古マンション再生販売事業）

2023年10～12月期の首都圏の中古マンション市場における成約件数は前年同期を上回り、成約価格も2012年10～12月期から45期連続で前年同期を上回りました。一方、新規登録件数が4四半期連続で前年同期を上回り、在庫水準は高止まりしております。そのような中、当事業は、前第4四半期に開設した関西支社が営業活動を開始したことで、販売単価は前年同期並みとなりましたが、販売件数が増加し前年同期比で増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は5,800百万円（前年同期比10.1%増）となりましたが、中古マンション再生販売事業の利益率低下により、営業利益は690百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明**（資産の部）**

資産合計は、前年度末と比べて1,377百万円増加し、24,960百万円となりました。これは、流動資産その他が804百万円増加したこと、投資有価証券が514百万円増加したこと等によるものです。

（負債の部）

負債合計は、前年度末と比べて888百万円増加し、12,484百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が207百万円減少したこと、未払金が236百万円減少したこと、有利子負債が1,217百万円増加したこと等によるものです。

（純資産の部）

純資産合計は、前年度末と比べて488百万円増加し、12,475百万円となりました。これは、利益剰余金が161百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が357百万円増加したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に「2024年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,342,854	2,707,021
受取手形、売掛金及び契約資産	752,731	531,643
商品	352,350	227,146
販売用不動産	2,570,206	2,636,888
貯蔵品	28,293	40,185
その他	1,071,652	1,875,685
貸倒引当金	△824	△1,540
流動資産合計	7,117,264	8,017,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,759,849	3,680,213
機械装置及び運搬具（純額）	17,760	9,096
工具、器具及び備品（純額）	224,971	256,599
土地	9,662,030	9,662,030
リース資産（純額）	1,357	1,051
建設仮勘定	—	10,490
有形固定資産合計	13,665,969	13,619,481
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	21,328	29,346
その他	35,895	35,895
無形固定資産合計	91,461	99,479
投資その他の資産		
投資有価証券	2,157,598	2,672,572
差入保証金	396,359	397,693
繰延税金資産	64,356	58,100
その他	114,217	126,922
貸倒引当金	△25,000	△31,187
投資その他の資産合計	2,707,532	3,224,101
固定資産合計	16,464,963	16,943,062
資産合計	23,582,227	24,960,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,840	942,246
短期借入金	87,000	1,796,000
1年内返済予定の長期借入金	1,301,083	1,370,333
リース債務	1,606	486
未払金	601,055	364,268
未払法人税等	47,569	33,172
前受金	127,813	235,898
賞与引当金	201,891	106,457
その他	636,445	560,010
流動負債合計	4,154,307	5,408,873
固定負債		
長期借入金	3,713,382	3,154,166
リース債務	1,021	701
長期未払金	1,414	1,135
長期預り保証金	796,458	799,017
繰延税金負債	624,698	790,411
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	1,004,888	1,021,138
資産除去債務	448,495	458,191
固定負債合計	7,441,075	7,075,478
負債合計	11,595,382	12,484,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	2,480,855	2,642,248
自己株式	△1,077,385	△1,108,841
株主資本合計	9,693,757	9,823,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369,293	726,908
土地再評価差額金	1,882,373	1,882,373
その他の包括利益累計額合計	2,251,666	2,609,282
非支配株主持分	41,421	42,765
純資産合計	11,986,845	12,475,741
負債純資産合計	23,582,227	24,960,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	11,481,756	12,464,594
売上原価	8,242,232	9,062,492
売上総利益	3,239,524	3,402,101
販売費及び一般管理費		
役員報酬	176,587	179,748
広告宣伝費	25,801	34,621
人件費	1,701,016	1,769,508
賞与引当金繰入額	58,022	70,221
退職給付費用	69,341	53,253
賃借料	235,575	234,737
水道光熱費	131,436	131,548
貸倒引当金繰入額	2,068	6,903
その他	679,581	805,680
販売費及び一般管理費合計	3,079,431	3,286,223
営業利益	160,093	115,877
営業外収益		
受取利息	11	22
受取配当金	75,103	84,789
助成金収入	236,791	—
貸倒引当金戻入額	48,788	—
その他	15,575	11,783
営業外収益合計	376,268	96,595
営業外費用		
支払利息	35,238	34,627
借入関連費用	2,990	4,228
その他	1,956	267
営業外費用合計	40,184	39,124
経常利益	496,177	173,349
特別利益		
受取補償金	—	134,786
資産除去債務戻入益	52,189	—
特別利益合計	52,189	134,786
特別損失		
固定資産除却損	15,549	11,037
事業所閉鎖損失	13,027	983
特別損失合計	28,577	12,020
税金等調整前四半期純利益	519,790	296,115
法人税、住民税及び事業税	68,045	46,686
法人税等調整額	△29,048	14,495
法人税等合計	38,997	61,181
四半期純利益	480,792	234,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,735	1,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	473,056	233,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	480,792	234,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,678	357,615
その他の包括利益合計	74,678	357,615
四半期包括利益	555,471	592,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	547,735	591,205
非支配株主に係る四半期包括利益	7,735	1,343

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。